

「富岡町災害復興計画(第二次)」検討委員 申し込み書

| | | | |
|------------------------|--|--------|--|
| 氏名 | | 性別 | (<input checked="" type="radio"/> 男) ・ 女) |
| ふりがな | えんどう しゅうぶん | | 生 年 月 日 |
| 漢 字 | 遠藤 秀文 | | 昭和46年 9月 27日 |
| 富岡町内住所 | 富岡町大字小浜字反町36-1 | | |
| 避難先住所 | 郡山市安積町荒井畑田12-4 | | |
| 電話番号 | 0249-46-7707 | 携帯電話番号 | 090-2604-4041 |
| 主な職歴 | 今後①10年先、②30年先を見据えどのような町の将来像を描きたいか、自由に書いて下さい。(600字程度) | | |
| 平成6年4月 | <p>10年後</p> <p>私の想像では、過去、郡都として栄えた富岡町、双葉郡(その頃は双葉郡が合併により1つまたは2つになっているかもしれません)の行政・文化の中心を担っている、そのようなならなくてはならないと思っております。富岡町は双葉郡の中心に位置し、地形、気候、歴史・文化、風土、都市環境、既存公共施設、中通り・会津とのアクセス(横断)と浜通りの中間に位置するロケーション等々を考えると、必然的に様々な活動・情報発信の拠点とならなくてはなりません。今後、福島第一原発の廃炉作業が本格的に始まります。この作業は作業員だけでなく、国内外の研究者がここを最前線として訪れ、活動し、中には生活拠点として構える方もいることでしょう。そのため、まずは富岡町の低線量および駅の近傍に生活基盤を整える必要があります。また、分散した様々な機能を集約し、歩いて暮らせる町、コンパクトシティーを形成することも重要となります。すなわち、国内外から多くの方が廃炉やエネルギーを考えるために訪れますが、それに加え省エネルギーで災害にも強く、そして子供から高齢者まで安心・便利な次世代のモデル的な町をつくり、それを多くの人々に見て、感じてもらい、双葉郡・福島再生・発展のシンボルとなるような地域を目指さなくてはなりません。また、富岡地区のJR東側の浸水域は地震・津波・原発事故の多重災害を受けたエリアとして、町民そして県内外、国内外の多くの人々の交流促進の場として、災害・事故を風化させない場所として、これからの環境・エネルギーを考える場所としてメモリアル的な国営公園を整備することを提案いたします。また、夜ノ森地区は面的な除染を行い、面的に空間線量を下げ、新たな居住エリア、新たな桜並木を作ります。ここでも、国内外の様々なまちづくりの事例を参考に、次世代の町並み作っていきます。町を再生する上で重要なこと、完全に帰らない人、時々帰る人、直ぐにでも帰る人、いずれ帰る人に加え、新たに居住する、すなわち移入したい人のことも考慮する必要があります。何れ帰りたい、移入したいと思える町を念頭に、中途半端でなく、究極的な街並み環境の整備を行います。帰らない人、帰る人共に、長期的な生活支援や情報提供、心や体のケアなど継続的に行うことも考えなくてはなりません。チェルノブイリでも3年以降に心の病が急増しております。心のケアが非常に重要になります。30年後は次頁。</p> | | |
| 日本工営(株)東京事業本部 交通技術部、入社 | | | |
| 平成7年9月～平成19年7月 | | | |
| 日本工営(株)国際事業本部 港湾・空港部 | | | |
| 平成19年7月日本工営退職、帰 | | | |
| 平成19年8月～平成25年11月 | | | |
| 双葉測量設計(株)、専務取締役 | | | |
| 平成25年12月～現在に至る | | | |
| (株)ふたば 代表取締役社長 | | | |
| 福島県技術士会・幹事 | | | |

30年後

元々の富岡住民と新たな住民が生活し、新しい文化と産業が形成されていることと思います。住みやすい住環境(次世代のエコ&コンパクトシティー)、次世代のエネルギーを生み出す地域(既存ストックの利活用)、自然・社会環境を考える地域(再生のプロセス)、減災および廃炉対策の世界的な発信拠点、自給率の高い地域(世界食糧難に対して発信する地域)、これらが融合して30年後の世界遺産の登録を目指します。まずはマイナスをゼロ、ゼロから+、+を最大限に成長させて、いつまでも語り継がれる地域を目指します。

以上、まだまだ書きたいことはありますが、このくらいに留めておきたいと思います。

最後に私事ですが、今後も海外に出張することがあります。海外出張で委員会を1, 2回欠席することがあるかもしれませんが、出張前に私の考え等をメモとして残していきたいと思います。

ご理解の程、宜しく願いいたします。

